



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 エステー株式会社  
 コード番号 4951 URL <http://www.st-c.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 米田 幸正  
 (氏名) 嶋田 洋秀

TEL 03-5906-0733

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,786	3.2	1,947	19.0	1,221	45.4	569	139.8
24年3月期第3四半期	35,656	6.2	1,636	△19.1	840	△37.0	237	△61.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 683百万円 (132.3%) 24年3月期第3四半期 294百万円 (△43.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	26.21	—
24年3月期第3四半期	10.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	33,539	19,873	57.8	891.98
24年3月期	30,286	19,701	63.4	884.45

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 19,371百万円 24年3月期 19,208百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
25年3月期	—	11.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	3.5	2,200	25.6	1,500	78.3	850	—	39.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	23,000,000 株	24年3月期	23,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,283,060 株	24年3月期	1,281,863 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	21,717,924 株	24年3月期3Q	21,759,899 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要に下支えされたものの、欧州や中国を中心とする世界経済の停滞等に起因して輸出や生産活動が落ち込み、エコカー補助金終了に伴う自動車販売の減少やデジタル家電の販売不振など個人消費も低調に推移しました。

こうした状況の中、当社グループは「3G（Growth・Global・Group）の実現」をテーマに掲げ、高収益体制の確立、経営改革活動STR（エステー・リフォーメーション）の全社展開、グローバル対応の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、367億86百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

利益面では、引き続き製造コストの削減に取り組み、販売費及び一般管理費につきましても効果的なマーケティング費用の投下を行う一方で、物流コストなどの経費削減に努めました。その結果、営業利益19億47百万円（同19.0%増）、経常利益12億21百万円（同45.4%増）、四半期純利益5億69百万円（同139.8%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

『防虫・衛生関連事業』の売上高は、156億78百万円（同4.0%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）部門は、記録的な残暑の影響で秋の衣替えシーズンの売上が伸び悩みましたが、東日本大震災の影響で販促活動を抑えた前年とは一転し、春先の売上が全般的に伸長したため、前年同期比で増収となりました。

ハンドケア（手袋）部門は、国内外ともにニトリルゴム手袋や中厚ビニール手袋等を中心に売上が伸長したため、前年同期比で増収となりました。

サーモケア（カイロ）部門につきましては、12月の猛烈な寒波等の影響で、くつ下用などの足回り品を中心に売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。

『家庭環境関連事業』の売上高は、211億7百万円（同2.6%増）となりました。

エアケア（消臭芳香剤）部門は、テレビコマーシャルが好評の「消臭力」の売上が伸長した他、新製品「マイアロマ コフレ」等が売上に寄与し、前年同期比で増収となりました。

湿気ケア（除湿剤）部門は、低価格競争が激化する中、「ドライペットスキット」等の売上が低迷したため、前年同期比で減収となりました。

ホームケア（その他）部門は、家庭用放射線測定器「エアカウンター」の売上は減少しましたが、新製品のアロマ加湿器「モイストペット」が売上に寄与した他、お米の虫よけ「米唐番」等の売上が伸長したため、前年同期比で増収となりました。

各カテゴリー別の売上高は以下のとおりであります。

カテゴリー	売上高	前年同期比
衣類ケア（防虫剤）	6,626百万円	1.8%増
ハンドケア（手袋）	3,116百万円	7.4%増
サーモケア（カイロ）	5,936百万円	4.8%増
エアケア（消臭芳香剤）	16,520百万円	3.5%増
湿気ケア（除湿剤）	1,947百万円	8.5%減
ホームケア（その他）	2,638百万円	6.3%増

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して32億53百万円増加し、335億39百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加11億54百万円、受取手形及び売掛金の増加19億69百万円、建設仮勘定の増加7億57百万円、投資有価証券の減少3億60百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して30億81百万円増加し、136億66百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加27億69百万円、未払金の増加4億72百万円、未払費用の減少2億57百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億71百万円増加し、198億73百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加1億13百万円であります。以上の結果、自己資本は193億71百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して5.6ポイント減少し、57.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月26日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ8,504千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,120,920	7,275,914
受取手形及び売掛金	4,545,048	6,514,480
有価証券	23,212	—
商品及び製品	4,918,706	4,811,493
仕掛品	141,561	186,409
原材料及び貯蔵品	359,561	440,341
繰延税金資産	364,740	251,620
その他	480,946	323,633
貸倒引当金	△13,738	△19,767
流動資産合計	16,940,958	19,784,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,848,338	1,843,498
機械装置及び運搬具（純額）	770,398	871,103
工具、器具及び備品（純額）	220,043	244,626
土地	3,278,651	3,242,220
リース資産（純額）	90,854	72,408
建設仮勘定	86,319	843,835
有形固定資産合計	6,294,606	7,117,692
無形固定資産	182,667	134,412
投資その他の資産		
投資有価証券	5,137,026	4,776,990
長期貸付金	58,704	51,177
繰延税金資産	235,365	211,447
その他	1,437,547	1,464,059
投資その他の資産合計	6,868,643	6,503,675
固定資産合計	13,345,917	13,755,779
資産合計	30,286,875	33,539,905

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,917,657	8,686,848
リース債務	32,637	29,464
未払金	1,880,512	2,353,309
未払費用	568,956	311,306
未払法人税等	184,428	174,606
未払消費税等	11,806	110,155
返品調整引当金	108,300	69,800
その他	74,107	156,125
流動負債合計	8,778,407	11,891,616
固定負債		
リース債務	89,590	68,528
再評価に係る繰延税金負債	333,177	321,237
退職給付引当金	1,267,058	1,252,371
役員退職慰労引当金	116,508	132,358
その他	665	708
固定負債合計	1,806,999	1,775,204
負債合計	10,585,407	13,666,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	7,552,474	7,665,972
自己株式	△1,784,867	△1,785,944
株主資本合計	19,900,921	20,013,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,745	414,974
土地再評価差額金	△501,996	△524,169
為替換算調整勘定	△546,060	△533,089
その他の包括利益累計額合計	△692,310	△642,285
新株予約権	98,735	110,023
少数株主持分	394,122	392,003
純資産合計	19,701,468	19,873,084
負債純資産合計	30,286,875	33,539,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	35,656,013	36,786,048
売上原価	20,784,365	21,452,909
売上総利益	14,871,648	15,333,139
返品調整引当金戻入差額	37,800	38,500
差引売上総利益	14,909,448	15,371,639
販売費及び一般管理費	13,273,274	13,423,797
営業利益	1,636,173	1,947,841
営業外収益		
受取利息	5,950	6,106
受取配当金	68,484	34,673
仕入割引	147,251	147,173
受取手数料	2,889	2,906
その他	64,191	83,266
営業外収益合計	288,767	274,125
営業外費用		
支払利息	781	171
売上割引	649,343	653,934
持分法による投資損失	345,422	312,110
その他	89,148	33,894
営業外費用合計	1,084,695	1,000,111
経常利益	840,245	1,221,855
特別利益		
固定資産売却益	3	4,585
特別利益合計	3	4,585
特別損失		
固定資産除売却損	20,999	33,219
投資有価証券売却損	—	6,270
投資有価証券評価損	47,280	60,273
災害による損失	22,327	—
特別損失合計	90,607	99,762
税金等調整前四半期純利益	749,641	1,126,678
法人税、住民税及び事業税	293,525	414,569
法人税等調整額	176,543	107,295
法人税等合計	470,069	521,864
少数株主損益調整前四半期純利益	279,571	604,813
少数株主利益	42,239	35,634
四半期純利益	237,332	569,179

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	279,571	604,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,388	37,421
土地再評価差額金	47,596	—
為替換算調整勘定	△70,347	14,677
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,059	26,274
その他の包括利益合計	14,579	78,373
四半期包括利益	294,150	683,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,155	641,378
少数株主に係る四半期包括利益	10,995	41,808

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計（千円）
	防虫・衛生関連事業 （千円）	家庭環境関連事業 （千円）	
売上高			
外部顧客への売上高	15,079,892	20,576,120	35,656,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	15,079,892	20,576,120	35,656,013
セグメント利益	742,179	893,994	1,636,173

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計（千円）
	防虫・衛生関連事業 （千円）	家庭環境関連事業 （千円）	
売上高			
外部顧客への売上高	15,678,616	21,107,432	36,786,048
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	15,678,616	21,107,432	36,786,048
セグメント利益	699,960	1,247,880	1,947,841

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の『防虫・衛生関連事業』のセグメント利益が2,425千円増加し、『家庭環境関連事業』のセグメント利益が6,079千円増加しております。